

学校図書館支援センターだより No.44

名取市図書館 学校図書館支援センター ☎382-5437 FAX382-5706

親子参加型イベント「1日子ども司書になろう！」開催

8月18日（金）と19日（土）に、市内の小学生の親子を対象に、司書の仕事を体験するイベントが行われ、午前の部・午後の部、合わせて22組が参加してくださいました。

内容は、バックヤードツアー、カウンター体験、レファレンスクイズ、選書体験でした。

バックヤードツアーは、普段は見る事ができないカウンターの裏側や、閉架書庫の書架が電気で動く様子を見学しました。カウンター体験では、本の貸出や返却の体験をしました。また、お題に合った本を探して持ってくるというレファレンスゲームでは、宝探し感覚で楽しく本を探ることができました。楽しくて、休憩も取らずに本を探している様子も見られました。



今年度は読み聞かせ体験の代わりに、選書体験をしました。

選書の重要性や、図書館ではどのような本を買わないかなどの説明の後、実際に、書店からお借りした新刊から、図書館にふさわしい本を選びます。その後、選書会議で、その本を選んだ理由を発表しました。選んでもらった本は、図書館で購入決定後、書いてもらったメモと一緒に展示しました。子ども視点でおもしろいと思った本は、来館者にもおもしろいと思ってもらえたようで、すぐに借りられていきました。

選書の重要性や、図書館ではどのような本を買わないかなどの説明の後、実際に、書店からお借りした新刊から、図書館にふさわしい本を選びます。その後、選書会議で、その本を選んだ理由を発表しました。選んでもらった本は、図書館で購入決定後、書いてもらったメモと一緒に展示しました。子ども視点でおもしろいと思った本は、来館者にもおもしろいと思ってもらえたようで、すぐに借りられていきました。



参加者の感想を、一部ご紹介します。

選書会議に参加できたことがよかった。私のえらんだ本がならぶかもしれないことがうれしい。

見たことないところを見れたり、初たいけんができたことがうれしい。

レファレンスゲームのおかげで“さがす”ということの楽しさに気付けたようです。

小学生向けブックリストを配布します

読書の秋に読んでもらいたいおすすめの本のリストを図書館で作成しました。市内小学校の全児童に学校を通して配布していただく予定です。

今回、特別かしだし券（通常10冊のところ11冊借りられる券）がおまけについていますので、秋休みなどに図書館の本をたくさん読んでいただきたいです。



「私の推し本！」コンクールを開催しました

6月20日（火）から8月22日（火）まで、図書館に来館された方と宮城県農業高等学校生、市内中学生、尚絅学院大学生を対象に、「『私の推し本！』コンクール～10代に向けて」を開催しました。10代に読んでほしいお薦めの本を紹介するカードを書いてもらうという内容です。

推しの本は、カードと一緒に、3階ティーンズコーナーに展示させていただきました。

初めてのイベントでしたが、22枚ご応募いただきました。



「Let's理科読～空気のちから～」を開催しました

7月30日（日）増田公民館ホールにおいて「Let's理科読」が開催されました。午前の部には71名、午後の部には61名ご参加いただきました。



この行事のために、増田中学校から6名、名取北高等学校・宮城県農業高等学校から31名ボランティアでお手伝いいただきました。

今回のテーマは「空気のちから」です。科学絵本の読み聞かせや本の紹介、大きなタネ模型を飛ばしたり、空気砲をうったりするなど、実験や工作をしました。



メインイベントは、新聞紙で作ったドームにうちわで空気を送ってふくらませ、新聞紙ドームに入ってみるという実験でした。

これを機会に、科学に興味をもっていただけたら嬉しいです。

2023年・第77回読書週間



10月27日（金）から11月9日（木）までは読書週間です。この期間中は、図書館だけではなく、書店、出版社、新聞社等、本や活字にかかわる様々なところで、読書を推進するためのイベントが行われます。

読書に関する楽しいイベントは、子どもたちが読書に親しむためのきっかけ作りとして大変有効です。新たなジャンルに興味を持ったり、読書習慣を身につけるきっかけにもなります。

読書週間が、子どもだけではなく、大人も一緒に本に触れあう機会になればいいですね。

公益社団法人読書推進運動協議会サイト

(<http://www.dokusyo.or.jp/jigyo/jigyo.htm>) では、ロゴやマークの他、ポップやしおり、ブックカバーなどの印刷用データがダウンロードできます。